

## 常総国道事務所の事業概要

—— 建設業の取組を支援

国土交通省 関東地方整備局  
常総国道事務所 所長 浜谷 恒平



事業管内図



害時の代替路線の確保を図るとともに、北関東地域と東関東地域の連携交流に寄与する事業です。

東関東水戸線の潮来IC～鉾田IC間の延長30.9kmについては、東日本高速道路株式会社とともに事業を推進しており、令和7～8年度開通を目指し、調査設計、用地買収、函渠工事、改良工事、跨道橋工事、橋梁上部工事及び橋梁下部工事を推進しています。また、令和5年7月に、行方パーキングエリア（仮称）の設置位置を決定致しました。

### 1. はじめに

常総国道事務所では、東関東自動車道水戸線（以下、「東関東水戸線」という。）の潮来インターチェンジ（IC）～鉾田IC、国道6号牛久土浦バイパス（BP）および首都圏中央連絡自動車道（以下、「圏央道」という。）の事業を担当しています。

### 2. 東関東水戸線

東関東水戸線は、重要港湾群（鹿島港、茨城港）や国際拠点である成田国際空港、茨城空港へのアクセス向上や常磐自動車道、国道51号の災



東関東 潮来市小泉地区



牛久土浦バイパス 国道408号付近



圏央道 館野高架橋付近

### 3. 牛久土浦バイパス

国道6号牛久土浦バイパスは、牛久市、土浦市周辺市街地の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び圏央道へのアクセス向上を目的としたバイパス事業です。

国道6号牛久土浦BPの延長15.3kmについては、5.2kmが暫定2車線で開通しております。Ⅱ期区間つくば市高崎～同市西大井間の延長1.9km及び土浦市中村西根～同市中間の延長2.7kmについては、用地買収、改良工事及び橋梁上部工事を推進しています。Ⅲ期区間牛久市城中町～つくば市高崎間の延長5.5kmについては、調査設計及び用地買収を推進しています。

### 4. 圏央道

圏央道の久喜白岡JCT～大栄JCT間の延長92.2kmについては、東日本高速道路株式会社とともに令和7年度から8年度までの全線開通を目指し4車線化事業を推進しており、久喜白岡JCT～幸手ICの延長8.5km及び境古河IC～坂東IC間の延長9.1kmについては、令和5年3月31日に完成し4車線運用を開始しました。また、神崎パーキングエリア（仮称）については、内回りは令和7年度、外回りは令和7年度から8年度の供用を目指し、改良工事を推進しています。

### 5. 「地域インフラサポートプラン関東2022」の推進

建設産業が取り組むべき、担い手確保や生産性向上、働き方改革を推進するための取組を支援するために、関東地方整備局において「“地域インフラ”サポートプラン関東2016」、「“地域インフラ”サポートプラン関東2017」を策定し、2022年6月には、「インフラ分野のDXの推進」など新たな取組を加えた、「地域インフラ」サポートプラン関東2022」を、とりまとめ・公表しました。

常総国道事務所では、担い手の確保・育成の推進として、受注者が行う「現場見学会」を支援する取り組みなど、建設産業の支援を進める本施策について、積極的に取り組んで参ります。

### 6. おわりに

事業実施にあたっては、地域の皆様と連携し、地域づくりを支える各事業を着実に進めてまいります。



東関道 現場見学会の様子